



(Vol.10)

市民による
まちの
PRチーム

三原市シティプロモーション

ぐっとみはら編集部

まちの「いいところ」を
「#ぐっとみはら」を
つけて投稿しよう!

かひ ゆかりの童謡歌碑とは!?



記事を担当した
編集部員
H・M

三原の好きなところ
四季を通じて景色が美しい
活動の抱負
知らない三原の魅力を
発掘していきます!



Instagramで
情報発信中!



ぶらり散歩で発見 有名な童謡の歌碑

本格的な夏が到来! 気持ちの良い青空を満喫するためぶらりと散歩に行きました。市民の憩いの場「宮浦公園」です。

宮浦公園は、市の都市公園として整備された広い公園で、市花のサツキなど四季折々の草花が見られ、子どもたちのにぎやかな声が聞こえる広場があります。園内を歩いてみると、気になる石碑を発見。童謡「かもめの水兵さん」の歌碑が建立されていることを初めて知りました。

ぐっとみはら 編集部とは?



市民や市にかかわる人たちが集まり活動するまちの広報チームです。三原の魅力を発掘・発信しています!



多くの人に愛される 二つのやさしい詩

「かもめの水兵さん」は三原出身の詩人・武内俊子さんが作詞し、全国でもなじみのある曲となっていて、市内では作品をモチーフにしたお菓子も作られています。さらに歩いてみると、同じく武内さんが作詞した「リンゴのひとりごと」の歌碑も発見。全国で愛唱されている有名な詩が、三原にゆかりがあることを改めて感じる事ができ、とてもうれしくなりました。ぜひ皆さんも市内にある歌碑を探してみてくださいね。

まちびとライター



西本さん 植田さん

「このまちが好き!」まちびとライターが行く

三原の盛り人

(vol.10)

地域を盛り上げている人や、祭りなどの伝統行事を守り続けている人たちの思いを伝えます。



お茶摘みは、先端の一芯二葉のみを折り曲げるように手摘みする



手もみ体験では、手作りのホイロ(茶を乾燥させる道具)を使って水分を飛ばす

「三原市公式note」
で記事掲載中!



Q 今後の展開を教えてください。

現在は、茶摘みから茶葉に仕上げる作業の体験会を開催しているほか、茶葉を広めるために、市のふるさと納税の返礼品にも登録しています。また、広島大学文学部の学生と協力し、長く続けていきたいです。



今回の盛り人

まほろばくろたに

前列/会長 高橋信忠さん(左)と
事務局長 和氣泰臣さん
後列/副会長 福場俊浩さん(左)と
住田正明さん

Q 「まほろばくろたに」の活動内容は?

大和町下草井のボランティア団体として、手もみ煎茶を広める活動をしています。この地域には浅野藩に献上していた歴史のある「鷹の爪」というお茶を栽培していました。一時は減少していましたが、周辺の環境整備を行うなどして復活させました。そして、玉露名人として知られる京都の山下新貴さんから技術を学び、本格的な手もみ煎茶を作っています。

市長 × トップセールス

三原の魅力为全国へ
アピールします！



三原の魅力のアピールするためには、市長自らが行動することが大切であると考えています。そのため、私が東京へ出張する時には、市長の重要な任務の一つとして、市のPR活動を積極的にこなしています。

令和4年度の東京出張の回数ながら14回に及びました。訪問先は多岐にわたり、地元選出の国会議員や政府関係者、民間事業者など、三原に縁のある人たちと幅広く面会や交流を行いました。令和4年12月には首相官邸にも伺って岸田首相に面会し、三原の抱える課題を伝えるだけでなく、「広島みはらプリン」や「三原たるま」などの三原の魅力もしっかりとアピールしてきました。

また、地方に関心の高い人たちの意見交換や連携も積極的に行なっています。これまでも日本離島センターや地方でのワーケーションを模索する事業者と連携を進めてきました。また新たに、水上スポーツの普及や、首都圏での情報発信の拠点整備

に取り組む団体や事業者との連携を強化するなど、三原により多くの活力を呼び込んでくれる人たちに、三原をアピールしてきました。

出張中には、移動中の隙間時間などに、オンライン会議やビジネスチャットを活用し、市役所の内部協議も並行して行なっています。

東京一極集中と言われて久しいですが、人・モノ・金・情報が集まる東京から、三原の活性化につながる有益なものをつかむことができるように、市の代表として、今後もしっかりと飛び回ります。



こちら三原市消防本部!



〒730-8591 三原市消防本部 ☎ 0848-64-5910

▲市HP



指令センター便り

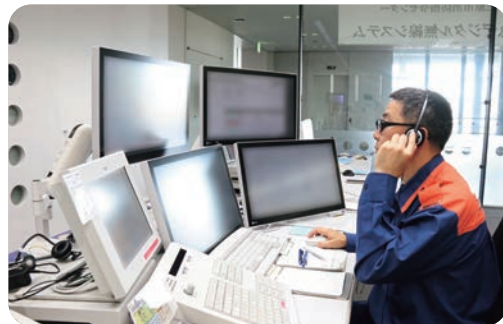
自動で119通報する
iPhoneの機能に注意を



アップルウォッチ
iPhone14やApple Watch8に搭載された衝突事故検出機能は、激しい衝撃を検知した時に警告音と警告画面を表示し、20秒後に自動で119に発信をします。

スポーツなどによる衝撃で意図しない119通報が多く発生しています。救急・救助などが必要ではない場合は自身でキャンセル操作が必要です。また、誤発信した時は電話を切らず「間違えた」と伝えてください。

「ライブ119」
通報システムを導入!



「ライブ119」は、通報現場を「見える化」する映像通報システムです。119の通報者にスマートフォンのカメラ機能で現場を撮影してもらい、その映像によって、早期に災害活動の方針を決定できるほか、有効な応急処置や心肺蘇生などを指導することもできます。

いざという時の 緊急連絡

子どものけがや病気に
関する相談
小児救急医療電話相談
#8000
時 19時～翌8時

FAX での緊急通報も
できます
(119番)

いつもと様子が違う、
おかしい場合は
迷わず119を!

もしものときの
救急車利用
マニュアル▶

